

第35期長崎県社会教育委員紹介

所属 小佐々地区地域学校協働本部

氏名 のま野間 けんじ健司

主な活動

佐世保市小佐々地区では平成29年4月から2つの小学校と1つの中学校で小中一貫型のコミュニティ・スクール「海光る町学園」を展開しています。

そして、その活動を支える組織として設置された「小佐々地区地域学校協働本部」で、私は地域コーディネーターをさせていただいております。地域コーディネーターは地域と学校をつなぐ役割を担っていますが、具体的には、地域の窓口として学校の要請に応じて地域の人材を紹介するというのが主な役目で、地域学校協働本部の様々な構成員の人脈を活用して、まさに地域学校協働の活動を推進しているところです。



左の画像は今年3月、小佐々地区公民館で開催された小佐々中吹奏楽部によるスプリングコンサートの一コマです。実は中央で手を広げているのが私、曲は「ヤングマン」。普段から学校へ足を運んでいて学校ともいい関係ができていたからこそ実現した共演だと思っています。

これも地域学校協働活動！

社会教育に対する思い

県社会教育委員のお話を最初にいただいた時、社会教育というものは自分には縁遠いものだと思っていましたが、よくよく考えてみれば今私がこのような立場にあるのも自分の学び直しの延長にあることに気がきました。約25年前、学校を卒業してから10年以上経っていた30代半ばで自分の楽しみとして通信教育を通じて英語の学び直しを始めました。これも社会教育のひとつです。当時の業務とは関係のない勉強でしたが、その後キャリアアップに繋がりサラリーマンを辞めてからは塾講師や家庭教師をやっております。子ども達との接点が増えるにつれ、今の学校はどんな様子なのだろうという好奇心が芽生え、学校に関わるようになりました。私は個人的な楽しみとして始めた学び直しですが、おかげで社会と関わっていただけるようになりました。学びの対象やその方法は人それぞれですが、社会教育が人生を豊かにするという事は身をもって感じております。